

# 庭野平和財団 活動助成 報告書

コード番号 09-A-060

財団法人 庭野平和財団  
理事長 庭野欽司郎 殿

2010年5月14日

申請団体 とくていひえいりかつどうほうじん かんさいえぬじーおーきょうぎかい  
特定非営利活動法人 関西 NGO 協議会

申請団体住所 〒530-0013 大阪府大阪市北区茶屋町 2-30  
Tel :06-6377-5144 Fax :06-6377-5148  
E-mail: [knc@kansaingo.net](mailto:knc@kansaingo.net)

事業の名称 対象分野( 2 )  
国際協力 NGO(関西地域) 合同広報キャンペーン「Let's いっちょカマー」  
\* 助成申請時の事業名称: 国際協力 NGO(関西地域) 合同キャンペーン「地球の歴史に、わたしの一步」  
助成金額  
200,000 円

添付書類①事業チラシ ②事業パンフレット ③新聞・雑誌掲載記事

## 1. 活動の目的

関西 NGO 協議会は、設立(1987年)から一貫して「市民一人一人の行動変容が平和で公正な社会(世界)をつくる」という信念のもとで活動を続けてきた。しかし、地球規模の課題解決に向けて個人や企業等が活発に動いているかという点、次のような現状があり、関西地域にかつてあった自律的・自立的な市民社会は弱体化しているのではないかと危惧している。

個人(市民)	「自己責任」や「競争」を強いられ、伝統的な共同体や行政によるセーフティ・ネットも崩壊する中で、孤立と無力感が広がっている。
企業・店舗	CSR(企業の社会的責任)の概念も定着し、NGO との協働に関心を寄せる企業が東京圏では年々増加しているのに対し、関西に拠点を置く、特に中小企業は、地球規模の社会貢献と本業とのリンクという視点の影響力はまだまだ小さい。
国際協力 NGO	活動内容が専門化・個別化する一方、国内での啓発においては「一人一人ができることを考えてみよう」というメッセージ発信に留まり、個人や企業等諸組織への具体的な行動の呼びかけができていない。

そこで、**国際協力 NGO が集まってアイデアを持ち寄り、個人や企業が地球規模の課題解決に気軽に参加できるメニューを提供する**、という合同キャンペーンを立案した。個人と企業とを「消費者-生産者」関係ではなく「社会貢献のパートナー」として結びつけるコーディネーター役を NGO が担い、**地球規模の課題解決に取り組む機運が関西地域全体で醸成されることを目的とする**。

## 2. 活動の内容と方法

### (1) 期間・地域

期間: 2009年12月～2010年3月(プレイベント: 2009年10月～11月)  
地域: 関西地域(但し、インターネットを通じての参加は地域を問わない)

### (2) 内容 \* 詳細別紙

①参加 NGO は、「地球規模の課題に関心はあるが、まだ何も行動していない」という人も気軽に参加できるような国際協力活動で、NGO だけでなく企業や店舗等も関わっているメニューを開発した。

1) イベント開催

- ・カフェでのトークイベント 2 回
- ・写真展 1 回
- ・金融機関店舗ギャラリーでの体験イベント 1 回(3 日間)
- ・フリーマーケット 1 回

2) オンラインメニュー(インターネットを通じた参加機会)の提供

- ・携帯電話待ち受け画像ダウンロードによる寄付、ソーシャルメディア(Mixi、twitter)の活用 等

3) プレイイベント開催(金融機関店舗ギャラリー)

- ・フェアトレード商品、書籍、写真パネル等の展示
- ・

② 複数の広報チャンネルでメニューを一覧提示し、参加を呼びかけた。

広報チャンネル例: メニュー紹介冊子の作成・配布、店頭へのポスター掲示、新聞・雑誌掲載  
特設ウェブサイト(活動終了後も、デザインを変更して継続している) 等

(3) 運営体制

	役割
<b>実行委員会:</b> オイコクレジット・ジャパン (財)PHD 協会 (特活)AM ネット (学)山口学園 ECC 社会貢献センター 外部クリエイター	・企画 ・広報
<b>参加 NGO:</b> (特活)アユス仏教国際協力ネットワーク関西事務局 (特活)アクセス-共生社会をめざす地球市民の会 (特活)インドマイトリの会 (特活)AM ネット オイコクレジット・ジャパン (特活)CODE 海外災害援助市民センター (特活)JIPPO シャプラニール関西連絡会 (社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン大阪事務所 (特活)テラ・ルネッサンス (社)日本キリスト教海外医療協会 日本国際飢餓対策機構 (財)PHD 協会	・参加メニュー提供 ・広報協力
<b>協賛:</b> 近畿労働金庫	・資金提供、イベント運営協力
<b>協力企業／教育機関／外部クリエイター:</b> (学)山口学園 ECC 国際外語専門学校ホテル・トラベル学科 (学)山口学園 ECC コンピュータ専門学校 (株)廻船問屋 Common Café ザ・ボディショップ((株)イオンフォレスト) ジブラルタ生命保険(株) 狩野哲也事務所	・参加メニュー提供 ・イベント運営協力
<b>事務局:</b> (特活)関西 NGO 協議会	・全体調整(資金調達・広報含む)

### 3.活動の実施経過

(年月)	(実施内容)	(担当)
2009年5月	参加NGOの募集、実行委員の募集(就任依頼)	【事務局】
6-7月	キャンペーン全体コンセプトの確定	【事務局、実行委員会】
8月	参加メニュー作成のためのワークショップ開催	【事務局、実行委員会、参加NGO】
9-10月	企業等への協力依頼 広報ツール(専用ブログ、mixiコミュニティ)作成	【事務局】 【事務局、外部クリエイター】
10-11月	プレイベント開催	【参加NGO・協力企業等、実行委員会、事務局】
11月-2010年2月	各広報媒体で参加メニューを広報	【事務局、実行委員会】
12月	イベント開催 オンラインメニューの開始	【参加NGO・協力企業等、実行委員会、事務局】 【参加NGO・協力企業等、実行委員会、事務局】
2010年2月	イベント開催	【参加NGO・協力企業等、実行委員会、事務局】
3月	ふりかえり・評価	【事務局、実行委員会】

### 4.活動の成果

#### (1)短期的な成果

キャンペーンを通して各ステイクホルダーが得た短期的な成果は下記の通り。

個人(市民)	気軽なイベントやオンラインメニューに参加することで、国際協力について考えるきっかけを得ることができた。	1回でも何らかのアクションに参加したのべ人数:約1,400人
企業	会場の提供、社員・学生のボランティア参加、イベントの共催等、無理のない範囲で国際協力NGOとの協働による社会貢献活動を実施することができた。	参加企業・教育機関・店舗数 :8団体
国際協力NGO	①自団体とは全くつながりのなかった新たな層との接点を持てた。中には、イベント参加者がボランティアとして団体運営に関わるようになった例も見られた。 ②イベント企画や広報において、受け手の立場に立った見せ方・伝え方を学んだ。同時に、効果的なクチコミによる広報の様々な手段と方法を学んだ。	参加NGO数:13団体

様々なイベントやオンラインメニュー作成の企画運営を通じて知り合ったNGOと企業／教育機関／店舗との協働や、NGOと外部クリエイターとの協働が既にいくつか開始されている。他セクターにとって、いきなり個別のNGOと協働することには抵抗がある場合も散見されるが、NGOが合同で行なっているキャンペーンということで安心して協力できる面があった。合同キャンペーンの場で顔の見える信頼関係を築いたことが、個別の組織や個人同士が新たな協働を開始する基盤づくりにつながった。

#### ※メディア掲載

キャンペーン専用ブログ <http://icchocomer.blogspot.com>

神戸新聞	2009年11月27日
読売新聞	2009年12月7日
FM COCOLO「On the move」	2009年12月13日放送
京都新聞	2009年12月18日
シティライフ(大阪・阪神地域のフリーペーパー)	2010年1月1日号
COMVO(大阪市のボランティア活動情報誌)	2010年2月号
毎日新聞	2010年2月3日
朝日新聞	2010年2月11日 生活文化面と大阪版「タウン/集う」

## (2)長期的な展望展開・今後の課題

本キャンペーンは 2009 年度・2010 年度の 2 回実施することを予定している。本年度(2009 年度)を踏まえて、2010 年度は規模を拡大し、参加する各ステイクホルダーの数の増加を目指す。

特に、下記の点に留意して進める。

- ・関西の NGO の小回りが利く特長を活かし、企業等他セクターとの協働による参加メニューを作る。
- ・イベントに参加できないステイクホルダーをもっとアクティブに巻き込むためにも、オンラインメニューを増やす。
- ・見せ方・伝え方をさらに向上させる。
- ・今回のキャンペーンの提案者である関西 NGO 協議会は、個々の NGO と他セクターとの協働を側面支援することで、キャンペーン終了後も個々の協働が創出されていく基盤づくりを行う。

## (3)期待できる社会的な波及効果

2 年間のキャンペーン終了後、キャンペーンを通して経験を積んだ各ステイクホルダーが連携して、**関西らしい国際協力活動が創出**され、多くの市民が参加していくことを想定している。

また、今回のキャンペーンの提案者である関西 NGO 協議会は、培った経験を元に、創出される個々の活動を側面支援する役割を担っていく。

【活動内容】

1. イベント開催

1)カフェでのオーガニック・ディナー付トークイベント

<第1回> (写真①)

日程 :2009年12月2日(水)

場所 :コモンカフェ(大阪市北区中崎西)

タイトル:「あなたの食べている有機野菜を作る人」

参加者 :約25人

内容 :京都市北部で有機農業に取り組む隅岡淳史さんと(財)PHD 協会の招聘にて日本で有機農業や地域づくりを学ぶビルマ人ザーナウンさんとの対談を行った。料理は隅岡樹理さん(cafe millet)による野菜料理を提供した。



写真①

<第2回> (写真②)

日程 :2009年12月9日(水)

場所 :コモンカフェ(大阪市北区中崎西)

タイトル:「オーガニック・ベジのいいはなし」

参加者 :約40人

内容 : (特活)AM ネット理事の神田浩史さんによる、日本の伝統野菜とグローバルな食糧・農業問題とを結びつけたトークを行なった。料理は瓜生良江さん(Kitchen macridoo)によるマクロビオティック料理を提供した。



写真②

2)ビジネス街での写真展 (写真③)

日程 :2009年12月10日(木)~12月16日(水)

場所 :オリンパスプラザ大阪 オープンフォトスペース

(会場提供:オリンパスイメージング株式会社)

タイトル:写真展「子どもをとおしてみる世界」

内容 :関西 NGO 協議会加盟 NGO が「子ども」をテーマに、世界各地の活動現場で撮影した写真を展示した。



写真③

3)商店街でのイベント

日程 :2010年2月12日(金)~2月14日(日)

場所 :ろうきんギャラリー心斎橋(大阪市中央区博労町)

タイトル:「地球にいっちょかみ! チョコッと体験」

参加者 :約900人

内容 :心斎橋筋商店街に面したスペースで、バレンタインデーにかけての3日間、さまざまな国際協力メニューの紹介を行った。ビジネス街の近くであることから、平日は多様な年代の会社員、また商店街に面していることから、土曜・日曜は買い物客が足を止め、初めて国際協力活動に触れるきっかけとなった。

・フェアトレードコーヒー/紅茶の試飲販売、フェアトレード商品(アクセサリー、雑貨等)の販売:(写真④写真⑤)

試飲、販売という手法により、道行く人が足を止め、会場内に入るきっかけにもなった。

・使用済み切手の収集ボランティア体験コーナー:実際に整理作業を体験しながら、身近にある使用済み切手がどのようにして国際協力活動に役立てられるかを紹介した。

・ザ・ボディショップによるハンドリフレッシュサービス(3分~5分)無料体験:コミュニティレードで原料を調達しているボディバターを使用したハンドマッサージを行ないながら、身近な商品の原料調達に潜む問題点や解決策を紹介した。



写真④



写真⑤

- ・トークイベント「買い物でつながる世界！～おしゃれに国際貢献～」  
(参加者:約 60 人):(写真⑥)  
NGO とフェアトレードショップのスタッフが、有名ブランドとのタイアップやフェアトレード・ファッションの楽しみ方等、おしゃれを楽しみながら国際協力する方法を紹介した。
- ・トークイベント「フェアトレードって何だろう？」  
(参加者:約 40 人):(写真⑦)  
身近な商品とグローバル経済との関わりやフェアトレードの概要を紹介した。
- ・模擬地雷原での地雷(模型)撤去体験、NGO スタッフによる活動紹介、My 箸づくりワークショップを行った。



写真⑥



写真⑦

#### 4)フリーマーケットを中心としたイベント(写真⑧写真⑨)

- 日程 :2010 年 2 月 14 日(日)  
 場所 :ECC コンピュータ専門学校(大阪市北区中崎西)  
 タイトル:「中崎町 あったかいフリーマーケット」  
 参加者 :355 人  
 内容 :戦前から残る街並みに、小規模なカフェや手作り雑貨の店等 20 代・30 代の起業による店舗が集まっている中崎町で、スローライフやエコロジーに関心の高い層に対して国際協力をアピールするため、フリーマーケットを中心としたイベントを開催した。
- ・フリーマーケット:手作りのお菓子や雑貨、古着・古本、リユース小物等、30 のブースが出店した。
  - ・中崎町スローウォーク:中崎町内をガイドつきで巡るミニツアー(15 分程度)を随時開催した。ECC 国際外語専門学校ホテル・トラベル学科の学生がサービスラーニング活動として企画運営した。
  - ・フェアトレードカフェ、ミニ写真展、ビデオ上映、手話エンターテイメント発信ネットワーク oioi によるバレンタインライブを開催した。



写真⑧



写真⑨

#### 2.オンラインメニュー(インターネットを通じた参加メニュー)の提供

- 1)携帯電話待ち受け画像ダウンロードによる寄付(写真⑩)  
 携帯電話の待ち受け画像を購入することで、代金の一部が NGO・NPO 等に寄付される「マチウケル！」(廻船問屋)の協力により、キャンペーン・キャラクターとインドの神様との二種類の画像による寄付を受け付けた。  
 キャンペーン・キャラクターのダウンロード数:9 件  
 参加 NGO が提供した待ち受け(インドの神様)ダウンロード数:23 件



写真⑩



写真⑪

- 2)ブログパーツによる広報協力(写真⑫)  
 キャンペーン・キャラクターの画像を使ったブログパーツ(キャンペーン専用ブログへのリンク)を作成し、個人や団体の HP・ブログへの設置を呼びかけた。

#### 3.プレイベント

2009 年 10・11 月、ろうきんギャラリー心齋橋で、フェアトレード商品・書籍・写真パネル等の展示を行った。